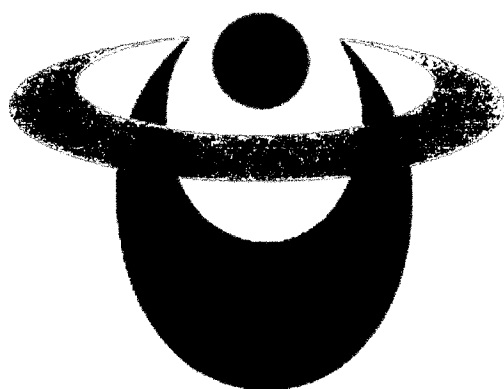


教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価結果報告書

(令和4年度分)



時と水ゆったり流れる
平川市

令和5年12月
平川市教育委員会

はじめに

平川市教育委員会は、「あふれる笑顔 暮らし輝く 平川市」の実現に向けて、未来を切り拓く子どもたちの育成、生涯にわたるスポーツライフの推進、知識と経験があふれる生涯学習の推進、感性をはぐくむ芸術文化の振興に努め、「郷土への愛着と誇りを持ち、健やかで、こころ豊かなひとづくり」を目指した教育を推進しています。

その中で、令和4年度は、第2次平川市長期総合プラン後期基本計画の1年目に当たり、魅力あるひとづくりを基本目標に、健やかなひとづくりとこころ豊かなひとづくりの基本政策に則し、教育施策の推進に努めてまいりました。

本報告書は、当該年度に実施した事務事業について点検及び評価した結果をとりまとめたものであり、作成に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、点検及び評価の客観性を一層確保するため、各分野に精通した学識経験者の意見を求め、それを反映させました。

本報告書は、議会へ提出するとともに、公表することで、市民への説明責任を果たし、今後の教育施策の更なる充実につなげてまいりたいと考えております。

市民の皆様には、本報告書をご覧いただき、本市の教育に対する取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、市民の皆様信頼される教育行政を推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年12月

平川市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1	令和4年度教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員構成	1
(2)	教育委員会会議状況	1
(3)	その他の活動状況	4
2	教育委員会における事務の点検・評価	
(1)	自己点検・評価の実施状況	5
(2)	具体的な点検・評価の方法	5
3	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価	
(1)	シート1	
	教育委員会が管理及び執行する事務	6
(2)	シート2	
	教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務	7
(3)	事務事業評価表	8～29

1 令和4年度教育委員会の活動状況

期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

(1) 教育委員構成

教育行政における責任体制の明確化など、教育委員会改革として「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成27年4月に改正され、教育長と教育委員長の仕事を一本化した、新教育委員会制度が始まりました。

平川市では、平成30年2月26日に教育長が市長より任命され、新教育委員会制度に移行しております。

令和4年4月1日現在

職名	氏名	任期	備考
教育長	須々田 孝 聖	令和3年2月26日～令和6年2月25日	(1期)
委員	工 藤 甚 三	平成31年3月8日～令和5年3月7日	(3期)教育長職務代理者
委員	葛 西 万 博	平成30年2月26日～令和4年2月25日	(3期)
委員	中 嶋 静 賢	令和2年2月25日～令和6年2月24日	(1期)
委員	加 藤 恒 有	令和3年3月6日～令和7年3月5日	(1期)
委員	工 藤 泰 子	令和3年6月11日～令和7年6月10日	(1期)

令和5年3月31日現在

職名	氏名	任期	備考
教育長	須々田 孝 聖	令和3年2月26日～令和6年2月25日	(1期)
委員	葛 西 万 博	令和4年2月26日～令和8年2月25日	(3期)教育長職務代理者
委員	中 嶋 静 賢	令和2年2月25日～令和6年2月24日	(1期)
委員	加 藤 恒 有	令和3年3月6日～令和7年3月5日	(1期)
委員	工 藤 泰 子	令和3年6月11日～令和7年6月10日	(1期)
委員	清 藤 文 仁	令和5年3月8日～令和9年3月7日	(1期)

(2) 教育委員会会議状況

毎月（原則第4火曜日開催）の定例会を計12回開催しました。また、令和5年3月には、臨時会を2回開催しました。

議案及び資料については、平川市教育委員会の事務の委任等に関する規則に則し、案件の整理を行い、議案様式を統一するなど会議運営について工夫しました。

また、審議が長時間にわたる場合は資料の事前配布等工夫を行い、より慎重な審議を行いました。

会議終了後は、教育委員会の透明性・公平性を図る観点から、会議録を作成し、市ホームページで公開しました。

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第4回定例会	4月26日 13:30~	議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 各課報告	市内小・中学校の夏季一斉閉庁について 平川市教育支援委員会委員の委嘱について 平川市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について 平川市社会教育委員の委嘱について 南地方市町村教育委員会連絡協議会総会資料について	可決 可決 可決 可決
第5回定例会	5月24日 13:30~	報告第8号 議案第18号 議案第19号 各課報告 各課報告	社会教育委員の委嘱について 平川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 平川市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会の概要について 温川多目的集会所温泉引湯管に係る提訴について	承認 可決 可決
第6回定例会	6月28日 13:30~	報告第9号 報告第10号 報告第11号 報告第12号 報告第13号 議案第20号 各課報告 各課報告 各課報告	令和4年度教育費6月補正予算について 放棄した私債権の報告について 工事の請負契約について (平川市立平賀東中学校大規模改修工事) 工事の請負契約について (平川市立碓ヶ関小中学校駐車場整備工事) 工事の請負契約について (平川市立碓ヶ関小学校校舎及び体育館解体工事) 奨学貸付金貸与者の返還金の免除について 平川市就学援助事業実施要綱の一部改正について 第49回東北総合体育大会運営事業費補助金交付要綱について 太師森遺跡における間伐事業について	承認 承認 承認 承認 承認 可決
第7回定例会	7月26日 13:30~	各課報告	学校適正配置計画(案)について	
第8回定例会	8月23日 13:30~	議案第21号 各課報告	平川市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則案について 平川市教育委員会文書取扱い及び職員の服務規程の一部を改正する訓令について	可決
第9回定例会	9月27日 13:30~	報告第14号 報告第15号 各課報告	令和4年度教育費等9月補正予算について 令和4年度教育費8月補正予算について 成人式の新名称について	承認 承認
第10回定例会	10月25日 13:30~	各課報告	日程等	
第11回定例会	11月22日 13:30~	議案第22号 各課報告	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 平川市部活動指導員設置要綱について	可決

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
第12回 定例会	12月16日 13:30~	議案第23号 各課報告 各課報告	令和4年度平川市教育委員会被表彰者の決定について 令和5年平川市教育委員会開催日程(案)について 令和4年度平賀体育館の耐震診断結果について	可決
第1回 定例会	1月24日 13:30~	報告第1号 議案第1号 各課報告	令和4年度教育費等12月補正予算について 令和4年度平川市教育委員会被表彰者の決定について 住所異動等に伴う区域外等就学者一覧(令和4年分)	承認 可決
第2回 定例会	2月16日 13:30~	議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 各課報告 各課報告 各課報告	平川市教育委員会における情報通信技術を活用した行政の推進に関する規則(案)について 令和5年度学校教育指導の方針と重点(案)について 令和5年度社会教育行政の方針と重点(案)について 令和5年度平川市図書館運営の方針と重点(案)について 令和5年度スポーツ行政の方針と重点(案)について 令和5年度平川市学校給食センター運営の方針と重点(案)について 平川市社会教育基本計画(案)について 県費負担職員の人事異動について 令和4年度平川市立小・中学校卒業式告辞について 令和4年度平川市立小・中学校卒業式日程(案)について 平川市通級指導教室実施要綱の一部改正について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第1回 臨時会	3月8日 15:00~	各課報告 各課報告	教育長職務代理者の指名について 令和5年度平川市立小・中学校入学式祝辞について 令和5年度平川市立小・中学校入学式日程について	
第2回 臨時会	3月16日 15:00~	議案第10号	平川市教育委員会職員の人事異動について	可決
第3回 定例会	3月28日 13:30~	報告第2号 報告第3号	平賀屋内温水プールの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について B&G尾上体育館、尾上野球場、尾上テニスコート、尾上体育館及び尾上多目的広場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	承認 承認

会議	開催日時	議案番号等	内容	結果
		報告第4号	平賀屋内運動場（ひらかドーム）、平賀テニスコート、平賀多目的広場及び平川市陸上競技場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	承認
		報告第5号	ひらかわドリームアリーナの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	承認
		報告第6号	令和5年度教育関係当初予算について	承認
		報告第7号 各課報告	令和4年度教育費3月補正予算について 平川市スポーツ大会参加に関する補助金交付要綱の一部改正について	承認

(3) その他の活動状況

① 市議会定例会等への出席

教育長が、本会議、一般質問、常任委員会、臨時会等に出席し、必要に応じて教育行政に関する答弁を行いました。

② 学校訪問について

学校運営の実態把握を目的として、小学校9校、中学校4校の学校訪問を年2回（前期・後期）実施し、学校経営方針を中心に校長、教頭及び教務主任と意見交換を行いました。また、各中学校区内の小・中学校の連携強化のため、現状や課題について意見交換をし、共通認識を深めました。

前期

訪問日	訪問校等
5月16日	竹館小学校
5月17日	碓ヶ関小学校、碓ヶ関中学校
5月18日	柏木小学校、小和森小学校、松崎小学校
5月19日	大坊小学校、尾上中学校
5月20日	金田小学校、猿賀小学校
5月24日	平賀東中学校
5月27日	平賀東小学校
5月30日	平賀西中学校

後期

訪問日	訪問校等
11月7日	大坊小学校、松崎小学校、平賀西中学校
11月8日	猿賀小学校、平賀東小学校
11月10日	小和森小学校、金田小学校、尾上中学校、平賀東中学校
11月11日	竹館小学校、柏木小学校、碓ヶ関小学校、碓ヶ関中学校

③ その他行事について

入学式・成人式・表彰式等の式典等に積極的に参加し、子どもたちの教育活動の現状把握に努めました。

また委員としての幅広い識見を養うため、委員同士の情報共有を行い、本市の教育行政の資質向上に努めました。

2 教育委員会における事務の点検・評価

(1) 自己点検・評価の実施状況

① 学識経験を有する者の活用

令和4年度の事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、学識経験を有する方の知見を活用するため、令和5年10月18日に「点検評価アドバイザー会議」を開催しました。

そして、「点検評価アドバイザー」からいただいた意見を本報告書の原案作成に反映させました。

※令和5年度（令和4年度分）点検評価アドバイザー

村上 薫 氏〔元平川市立平賀東中学校長〕

成田 裕一 氏〔NPO法人平川市スポーツ協会理事長〕

② 点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和5年11月の教育委員会において、点検及び評価を行いました。

(2) 具体的な点検・評価の方法

点検・評価は、次のとおり行いました。

教育委員会の令和4年度の活動状況について、本報告書にまとめ、点検を行いました。

① 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）について、進捗状況や、会議での審議状況を踏まえて点検を行いました。（シート1）

② 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する主な事務事業について、その成果等を踏まえ、AからDの評価を行いました。（シート2）

評価の基準

達成度	評価内容
A	達成している（100%）
B	ほぼ達成している（80%以上）
C	おおむね達成している（60%以上）
D	達成していない（59%以下）

3 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

(シート1)

1 教育委員会が管理及び執行する事務

項 目	点 検
(1) 教育行政の基本方針を決定すること	教育行政の運営に関する一般方針については、年度末に教育委員会で各課の方針と重点を定め、「平川市の教育」の中で平川市教育委員会主要施策として公表している。各課では、方針に基づいて、教育行政の運営に努めた。
(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	教育委員会の活動、教育委員会が管理・執行する事務と教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務等について、点検評価アドバイザーの意見を参考に点検・評価を行い、教育委員会で承認を受け、議会に提出した。また、市ホームページに掲載し周知した。
(3) 学校、公民館、図書館その他の教育機関の設置及び廃止を決定し、並びにその敷地を選定すること	該当事例なし
(4) 1件の予定価格が500万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること	該当事例なし
(5) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	学校管理運営規則及び学校職員服務等に関する規程に基づき、服務規律等の確保に努めた。また、毎月開催の定例校長会において、定期的に服務規律のマニュアルを提示し、具体的に指導し、交通違反、交通事故、体罰等の防止に努めた。 更には、校長の任免について、教育委員会に諮った。
(6) 教育長、事務局長、課長、館長、施設長及び所長の任免その他の人事に関すること	教育委員会職員の人事異動に関し、教育委員会に諮った。
(7) 教育委員会規則を制定し、又は改廃すること	教育委員会規則の制定等については、定例の教育委員会に諮り、委員の意見を聞きながら、慎重かつ的確に審議した。
(8) 教育予算その他市議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ること	教育委員会関係の条例制定や一部改正、予算、工事の請負契約等について、教育委員会に諮り、意見を求めた。
(9) 法令に定める附属機関の委員の任免、委嘱又は解職に関すること	各課で委嘱している各種委員の任命及び委嘱について、法令で規定されているものを教育委員会に諮り、意見を求め、採決した。
(10) 学齢児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	該当事例なし
(11) 教科用図書を採択すること	該当事例なし

2 教育委員会が管理及び執行を教育長に委任する主な事務

基本目標	基本政策	個別目標	具体的事務事業	評価	No	担当課
基本目標1 魅力あるひとづくり	1-1 健やかなひとづくり	2 未来を切り拓く子どもたちの育成	学校図書整備	B	1	学校教育課
			学校教育振興会補助金	B	2	〃
			学校改築	A	3	〃
			小学校・中学校施設維持管理	A	4	〃
			学校給食の充実	B	5	学校給食センター
			平川市教職員研修	A	6	指導課
			英語検定料補助金	B	7	〃
			学力向上対策（学習支援員配置）	A	8	〃
			指導主事による学校訪問	B	9	〃
			いじめ防止対策	B	10	〃
			放課後子ども教室	B	11	生涯学習課
	3 生涯にわたるスポーツライフの推進	軽スポーツ巡回教室	B	12	スポーツ課	
		平川市スポーツ大会派遣補助金	B	13	〃	
		SOMPO ボールゲームフェスタ	B	14	〃	
		ひらかわドリームアリーナ駐車場整備工事	A	15	〃	
	1-2 こころ豊かなひとづくり	2 互いに尊重し共生しあえる社会の形成	男女共同参画事業	B	16	生涯学習課
			5 知識と経験がふれる生涯学習の推進	ひらかわの寺子屋	B	17
		6 感性をはぐくむ芸術文化の振興	定例おはなし会	B	18	平川市図書館
			図書館利用促進事業	B	19	平川市図書館
			公共ホール音楽活性化	B	20	文化ホール
		文化財保護	B	21	郷土資料館	
		郷土資料館	B	22	郷土資料館	

事務事業評価表

事業 No. 1

事務事業名	学校図書整備	担当課	学校教育課
-------	--------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	読書から得られる集中力、認識力等の醸成に資するため、文部科学省の定める「学校図書館図書標準」を基に、学校図書の充実に向けた整備を行う。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

文部科学省の定める「学校図書館図書標準」を基に、充足率の低い学校から重点的に予算配分し、充足率を高める。

- (1) 実績額合計 ・小学校 2,126,796円 ・中学校 1,498,824円
 (2) 学校図書標準充足率 ・小学校 96% (前年98%) ・中学校 83% (前年82%)
 全学校 91% (前年92%)
 (3) 絆会より13万円の寄附を受け、一人あたりの蔵書数が少ない柏木小学校と小和森小学校へ6万5千円ずつ配分し、図書の購入費に充てた。

【実績】

学校図書購入実績額・充足率内訳

小学校名	実績額	充足率	中学校名	実績額	充足率
金田	314,000円	98%	尾上	444,906円	85%
猿賀	215,380円	98%	平賀西	537,648円	80%
柏木	278,894円	71%	平賀東	385,986円	80%
大坊	165,000円	88%	碓ヶ関	130,284円	91%
小和森	414,648円	120%	計	1,498,824円	83%
松崎	189,825円	96%			
竹館	161,414円	109%			
平賀東	256,850円	89%			
碓ヶ関	130,394円	86%			
計	2,126,796円	96%			

【事業費】 事業費総額 3,626千円 (うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	国の定める「学校図書館図書標準」を目標に、各校で図書の整備がなされたが、依然として充足率の低い学校がある。蔵書の老朽化の状態も勘案しながら、充足率を高めるため、さらなる学校図書の充実を図る必要がある。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 2

事務事業名	学校教育振興会補助金	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	平川市立小・中学校間の連携強化に関わる事業及び部活動等の大会派遣に対し補助金を交付することにより、学校教育・スポーツ・文化芸術の振興に寄与する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

部活動等の大会派遣に対する補助金交付のほか、市内小・中学校間の連携事業に係る事業（文集ひらかわ、学校保健会、児童・生徒作品展）に対する補助金の交付を行う。

【実績】

学校教育振興会補助金内訳

事業名	実績額	備考
① 部活動等の大会派遣費	4,957,200円	※ 延べ63大会
②連携事業費	文集ひらかわ	418,308円
	学校保健会	57,000円
	児童・生徒作品展	90,000円
計	5,522,508円	

【事業費】 事業費総額 5,523千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>小・中学校間の連携事業では文集ひらかわの発行、学校保健会の運営、児童生徒作品展の開催など、職員の意欲的な取組みにより学校間の連携強化が図られた。</p> <p>また、部活動の大会派遣費は補助金の活用により、スポーツ・文化の振興に寄与することができ、保護者の負担軽減が図られた。</p>
---	---

事務事業評価表

事業 No. 3

事務事業名	学校改築	担当課	学校教育課
-------	------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1	健やかなひとづくり
	個別目標	2	未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1	学校教育環境の充実
事業年度	令和4年度		
事業の目的	老朽化した学校の改築を行い、安全・安心な教育環境を維持する。		

2. 実施方法・実績

【実施方法】

耐力度調査実施により危険改築の要件を満たした校舎及び屋内運動場について、設計業務を行う。

設計が完了した施設は、国庫補助（負担金及び交付金）等を活用して工事を実施している。

【実績】

(1) 碓ヶ関小学校改築事業

委託料（監理業務）	2,123,000円
工事請負費（校舎解体工事）	154,973,500円
合計	157,096,500円

(2) 金田小学校改築事業

委託料（測量・設計業務）	66,719,997円
委託料（監理業務）	2,442,000円
工事請負費（プール解体工事）	8,426,000円
手数料（建築確認等）	975,000円
合計	78,562,997円

【事業費】 事業費総額 235,660千円（うち国補助 61,734千円）

3. 評価

A	<p>本事業で、碓ヶ関小学校改築事業が完了、新たに金田小学校改築事業に着手し、安全・安心な教育環境を維持することができた。</p> <p>今後も計画どおりに事業を実施し、工期内に完成するよう業者との連携を密にし、教育環境の充実を図っていく。</p>
---	--

事務事業評価表

事業 No. 4

事務事業名	小学校・中学校施設維持管理	担当課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	学校施設の不具合が生じた箇所を工事・修繕し、安全・安心な教育環境の維持管理に努める。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】		
電気設備や消防設備、遊具などは、定期的に保守管理を行い、状況把握に努める。		
また、学校施設や備品の破損等については、速やかに状況を確認し、緊急度・優先度の高いものから修繕等を実施する。		
【実績】		
(1) 小学校の主な工事・修繕		
小和森小学校玄関通用口改修工事	738,386円	
小和森小学校特別支援教室設置工事	545,000円	
修繕料	6,479,919円	柏木小学校太陽光発電設備ほか
小学校総合計	7,763,305円	
(2) 中学校の主な工事・修繕		
碓ヶ関中学校外構工事	224,439,600円	
平賀東中学校大規模改修工事	256,371,984円	
平賀西中学校部室棟改築工事	8,844,000円	
平賀西中学校屋上防水改修工事	3,650,026円	
平賀西中学校校門移設工事	1,804,000円	
尾上中学校トイレ洋式化改修工事	610,500円	
修繕料	4,776,465円	平賀西中学校電気温水器ほか
中学校総合計	500,496,575円	
【事業費】 事業費総額 508,260千円（うち国補助 88,759千円）		

3. 評価

A	<p>碓ヶ関中学校の外構工事、平賀東中学校の大規模改修工事を実施したほか、特別支援教室設置工事やトイレ洋式化工事などを行い、教育環境の充実を図ることができた。</p> <p>学校施設の修繕については、施設や設備の点検結果のほか、学校からの要望を受けて現地確認を行うなど、優先順位を決めて計画的に実施した。</p>
----------	--

事務事業評価表

事務事業名	学校給食の充実	担当課	学校給食センター
-------	----------------	-----	----------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1	健やかなひとづくり
	個別目標	2	未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1	学校教育環境の充実
事業年度	令和4年度		
事業の目的	ぬくもりのある学校給食を提供するため、衛生管理の徹底などが円滑に行えるよう管理運営体制の充実を図るとともに、第3次平川市食育推進計画に掲げられた、地元農産物利用率の目標値 20%の達成を目指す。		

2. 実施方法・実績

【実施方法】

- (1) 栄養士等による調理員に対する衛生管理指導を実施するほか、調理業務受託業者による衛生管理研修会を行い、調理員の衛生管理に関する知識と意識付けによって、衛生管理の徹底を図る。
- (2) 地元農産物利用率目標達成のため、農家などから直接購入できるよう農産物供給者を募集して、地元農産物の利用を促進しながら、子どもたちに喜ばれる魅力的な給食献立の創意工夫に努める。

【実績】

- (1) 衛生管理の徹底、調理員の意識向上により食中毒防止が図られ、効率的に業務に取り組み、給食を定時に提供できた。
- (2) 野菜などの生産農家に地元農産物供給者として登録をしてもらい、直接食材を購入するなど、地元農産物の利用促進を図ったが、米や野菜の使用量が減少したことにより地元産農産物利用率が19.5%と前年度よりも0.7ポイント下回る結果となった。

①学校給食センター食数等

基本食数 (令和4年5月1日現在)	令和4年度 給食日数	令和4年度 総食数
2,325食/日	198日	436,747食

②農産物利用率

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地 元	18.1%	16.0%	19.2%	19.5%	20.2%	19.5%
県内(地元含む)	63.6%	65.5%	62.9%	63.4%	62.5%	61.4%

【事業費】 事業費総額 255,437千円 (うち国・県補助 0千円)

3. 評価

B	<p>衛生管理等の徹底を図ることにより、ノロウイルス感染症及び食中毒等の発生を予防でき、安全・安心な給食を各小・中学校へ遅延なく提供することができた。</p> <p>地元農産物利用率については、食材卸売業者から地元産食材を優先的に購入したり、市内の農家から直接野菜等を購入したものの、前年度に比べ使用量が減少したことから目標値の20%を達成することができなかった。</p> <p>今後、安全・安心な給食を提供するため、引き続き地元並びに県内農産物の利用に努め、利用率を高めていく必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 6

事務事業名	平川市教職員研修	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育環境の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	教員としての専門性を高め、資質の向上を図ることにより、授業を核にした生き生きとした学級づくりの推進に資するとともに、学校運営への参画意欲を高め、平川市の学校教育の活性化を目指す。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

市内の小・中学校教職員を対象とした研修会、講座を実施する。

【実績】

管理職及び管理職として期待される教員には、その自覚と学校運営に参画する意欲を高めることができた。

また、学級担任等には、ICTの活用や学級経営で求められる明確な視点を与えられたことにより、教科指導や生徒指導の指導力向上を図ることができた。加えて、参集型、オンライン型、ハイブリッド型等、状況や意図に合わせた形態での研修等を実施することもできた。

研修会・講座開催実績

講座名	実施年月日	参加者	実施形態
平川市教師力向上講座①	令和4年5月30日	58名	オンライン
平川市小・中学校教職員全員研修講座	令和4年7月26日	175名	ハイブリッド
平川市夏季研修講座	令和4年8月1日	34名	参集
平川市教師力向上講座②	令和4年9月15日	16名	参集
幼保小連携研修	令和4年12月26日	36名	参集
研修主任会議（兼校内研究推進研修）	令和5年1月20日	26名	参集
教頭・教務主任会議（兼教育課程研修）	令和5年1月20日	26名	参集
特別支援教育担当者会議（同上）	令和5年1月24日	26名	オンライン

【事業費】 事業費総額 166千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

A	<p>新型コロナウイルス感染予防対策やオンライン授業等実施のスキル向上のため、一部の実施形態をオンライン型やハイブリッド型としたり、会議に研修内容を盛り込んだりして、学力向上、ICT活用、発達障害と学校支援、危機管理など、学習指導要領の趣旨を踏まえた内容の他、特別支援教育に関わる内容等教育課題に即した講座を開催し、講義や演習を通して市内教員の資質向上を図った。今後も実態を踏まえて、より実践的な研修内容を工夫し、教員の指導力向上を図っていく必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 7

事務事業名	英語検定料補助金	担当課	指導課
-------	----------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	英語検定料を補助することで、受検機会を増やし、英語意欲を高め、平川市の中学生に係る英語力の底上げを図る。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】 英語検定3級、4級を受検する生徒の保護者（申請者）に対し、準会場（学校を会場とするもの）検定料の3分の2の額を補助する。 ※文部科学省及び青森県では、3級以上の英語力のある生徒を5割とする育成を目標としている。</p> <p>【実績】 準会場（学校を会場とするもの）の検定実施となった5～6月、9～10月、1月に合わせて年3回、また塾や校外会場（オンライン等）にて受検した者に対して補助金交付を行った。 3級受検者50名のうち補助申請者は35名、4級受検者56名のうち補助申請者は35名であった。</p> <p>【事業費】 事業費総額 192千円（うち国・県補助 0千円）</p>

3. 評価

B	<p>令和2年度から実施した事業である。令和元年度の3級と4級の受検者数は165名、合格率は約66.1%。同様に令和2年度は171名、73.7%、令和3年度は140名、76.4%、令和4年度は106名、81.1%であった。受検者数については、コロナ禍の影響により前年度から減少となっているが、合格率については向上してきている。これは、意欲のある生徒が受検できる機会が増え、事業の効果が表れた側面であると捉えている。しかし、受検者数に対する補助申請者数、補助申請率は、令和2年度62.0%、令和3年度78.6%であったが、令和4年度は66.0%となっており、コロナ禍の影響が大きかったと考えられるものの、今後も事業内容の更なる周知を含め、より一層事業効果が高まるように努めていく。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 8

事務事業名	学力向上対策（学習支援員配置）	担当課	指導課
-------	-----------------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	1 学校教育の環境の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	市内全小・中学校に学習支援員を配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

学習支援員19名を、すべての小・中学校に1～2名配置し、授業における個別支援に努めるほか、中学校においては長期休業中も学習支援を行う。

適切な支援の在り方についてスキルアップを図るため、各種訪問時等において必要な指導・助言を行う。

【実績】

小学校9校では各校の実態に合わせて、学力向上重点学年や教科（主に算数）に応じて配置し、学級担任との連携のもと支援を行った。

中学校4校では、主に数学、英語を中心として教科に応じた配置を行い、学習理解の程度に合わせた個別支援を行った。

学習支援員報酬等支給実績

支援員19名（小学校12名、中学校7名）	
報酬（時給1,100円）＋期末手当	16,975,787円
通勤手当（対象18名）	751,738円
総支給額	17,727,525円

※その他、共済費（雇用保険、労務災害保険）は人事支出によるため明記なし。

【事業費】 事業費総額 17,728千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

A	<p>子どもたちに発言を促したり、気付いていない視点を示したりするなど、児童生徒一人一人の実態を把握し、個に寄り添いながら学習意欲を引き出しつつ、学ぶ楽しさを実感させることで、基礎学力の定着・向上が図られた。</p> <p>学級担任等との連携を一層充実させるために、管理職等に有効な活用の仕方について指導・助言するとともに、支援員の確保や個々の支援員の資質向上を更に図るよう努めていく。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 9

事務事業名	指導主事による学校訪問	担当課	指導課
-------	-------------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	2 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
事業年度	令和4年度	
事業の目的	指導主事が直接学校を訪問し、学校運営等に関わる現状把握と諸問題解決について指導・助言を行う。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

【実施方法】

計画訪問、要請訪問（学校からの要請）、生徒指導訪問（長期休業明け及び必要に応じた随時の訪問）を実施する。

【実績】

（1）計画訪問

各校の教育課題への取組状況を把握するとともに、授業への具体的な指導・助言をし、授業力向上に寄与できた。

（2）要請訪問

授業実践に対する具体的な指導・助言を通して、教員の研修意欲を高めることができた。

（3）生徒指導訪問

計画的な訪問、必要に応じた随時の訪問を通して、児童生徒の状況を把握し、問題行動等の未然防止、事案対処に資することができた。長期休業明けに市内全小中学校を訪問し、長期休業中の児童生徒の行動についての実態把握及び対応への指導・助言により、問題行動の減少といじめ防止等の効果的な取組について共通理解を図ることができた。

学校訪問実施状況

訪問内容 / 実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
計画訪問		1校	9校	3校						
要請訪問						1校	3校	8校	1校	
生徒指導訪問	随時	随時	随時	随時	13校	随時	随時	随時	随時	13校

【事業費】 事業費総額 21千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	平川市学校教育指導の方針と重点を確実に伝達するとともに、校内研修が一層充実するよう、コロナ禍において全体会を行わない中でも実施方法を工夫しながら、全体的な内容は管理職を通して、各授業については訪問カードでの伝達も併用し、具体的かつ適切に指導・助言を行った。今後も、教育課程の管理や授業改善等についての指導・助言を継続していく必要がある。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 10

事務事業名	いじめ防止対策	担当課	指導課
-------	---------	-----	-----

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
事業年度	令和4年度	
事業の目的	市、学校、家庭、地域住民、その他関係機関と連携し、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。	

2. 実施方法・実績（具体的に記載）

<p>【実施方法】</p> <p>(1) 定期的な指導主事訪問等で各校のいじめ防止等への取組状況を把握し、必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(2) 各校にいじめ等に係る報告書を毎月提出させるとともに、特に、保護者対応（いじめの報告）や暴力行為への対応等について必要に応じて指導・助言をする。</p> <p>(3) 各校にインターネットトラブル事例集（第7版）をデータ配付し、ネットによるいじめの発生を未然に防ぐよう、保護者への周知・啓発について指導する。</p> <p>(4) 平川市いじめ問題対策連絡協議会と平川市いじめ防止対策審議会を運営し、関係機関との連携を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>各校におけるいじめ問題に関する理解が深まり、いじめの積極的認知や早期対応に繋がり、いじめ防止対策を推進することができた。また、関係機関との連携やインターネットトラブル事例集（第7版）のデータ配付等により、ネットトラブルに係る情報を各校に提供することによって、現在増えてきているネットトラブルの未然防止にもつなげることができた。</p> <p>【事業費】 事業費総額27千円（うち国・県補助 0千円） 審議会等26,760円、インターネットトラブル事例集（改訂版）0円</p>

3. 評価

B	いじめ問題に関する理解が深化したことにより、いじめを早期に発見し、解消に向けた取組に繋げることができている。引き続き、いじめ防止の実効性を高めるために関係機関との連携を強化するとともに、いじめやその積極的な認知について、より一層保護者や地域住民への周知に努める必要がある。
----------	--

事務事業名	放課後子ども教室	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	2 未来を切り拓く子どもたちの育成
	主要施策	3 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
事業年度	令和4年度	
事業の目的	放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進する。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 協働活動支援員や協働活動サポーター（地域のボランティア団体）に運営を依頼し、「読み聞かせ」、「ものづくり」、「レクリエーション」、「スポーツ」教室などを開催し、計画的に活動拠点（居場所）を確保している。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室（平賀・尾上地区） 年9回（あみまつハウス） (2) わくわく碓ヶ関教室（碓ヶ関地区） 年6回（h&fプラス） (3) わくわく遊び体験教室（放課後児童クラブと連携） 年1回（あみまつハウス、市内児童クラブ）</p> <p>【実績】 わくわくひらかわ教室を文化センター、わくわく碓ヶ関教室を碓ヶ関公民館で実施した。</p> <p>(1) わくわくひらかわ教室 開催回数9回 対象者42名（平賀35名、尾上7名） (2) わくわく碓ヶ関教室 開催回数3回 対象者29名 (3) わくわく遊び体験教室 開催回数1回 対象者10名 ※わくわくひらかわ教室については、先着順の募集とした。</p> <p>【事業費】 事業費総額 297千円（うち国・県補助 189千円）</p>

3. 評価

B	<p>本事業は、地域の大人や他校の子どもたちが、様々な体験や交流ができる重要な場となっている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人との距離を保ちながらの活動であったため、事業の運営を工夫し様々な体験活動により、気付きや考える力が養われたと思われる。</p> <p>例年、「わくわくひらかわ教室」の申込者の大半が平賀・尾上地区となっていたことから、令和3年度から市内全域の子どもたちが参加できるよう、新たに碓ヶ関地区を対象とした「わくわく碓ヶ関教室」を開催し、各会約20名の参加があった。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 12

事務事業名	軽スポーツ巡回教室	担当課	スポーツ課
-------	------------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1	健やかなひとづくり
	個別目標	3	生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	2	スポーツ・レクリエーション活動の充実
事業年度	令和4年度		
事業の目的	市民スポーツ推進のため、市民の要望に応じ平川市スポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツの指導及び普及を図る。		

2. 実施方法・実績

【実施方法】

市民の要望に応じた出前教室を26名のスポーツ推進委員が実施する。

- (1) 広報、ホームページによる事業の周知
- (2) 軽スポーツを希望する団体からの申請受付
- (3) スポーツ推進委員の調整
- (4) スポーツ推進委員の派遣
- (5) 実績報告・謝金支払

【実績】

巡回教室開催実績

内 容	件数	参加者	推進委員	備 考
体操教室	8	139	20	町居こども園2件、中央こども園3件 こども園あらや3件
軽スポーツ教室	2	12	3	町居こども園
親子レク教室	5	233	10	大坊小1・5年、金田小2・4年、猿賀小2年
わくわくひらかわ教室	1	34	1	生涯学習課事業

【事業費】 事業費総額 298千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>平川市スポーツ推進委員を講師に、市民の要望に応じた出前教室を行うことで、スポーツへの親しみが深まり、市民のスポーツ意識と健康意識の向上につながっている。</p> <p>今後もスポーツ推進委員の研修会へ積極的な参加を呼びかけながら、スキル向上を図り巡回教室の周知を図り、年齢に関わらず広く市民に軽スポーツを通じたスポーツの普及に努める。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 13

事務事業名	平川市スポーツ大会派遣補助金	担当課	スポーツ課
-------	----------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和4年度	
事業の目的	市内小・中学生のスポーツ活動及びスポーツ少年団等の振興を目的に、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費を助成する。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

市内小・中学生が県大会等の成績により、東北大会・全国大会などに参加するための交通費等一部経費（学校教育振興会補助金交付要綱対象者を除く）を助成する。

- ①東北や全国大会の出場権を得た個人または団体から申請を受ける。
- ②スポーツ課で精査した後、財政課に提出し交付決定される。
- ③申請者より請求を受け補助金を交付する。
- ④大会終了後、申請者より実績報告を受け補助金を精算する。

助成金（小学生）：東北（秋田・岩手） 10,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島）

15,000円、関東、甲信 20,000円、北陸、東海 25,000円、近畿 40,000円、中国 45,000円、四国 55,000円 九州 60,000円、沖縄 70,000円

助成金（中学生、監督等）：東北（秋田・岩手） 10,000円、北海道、南東北（宮城・山形・福島）

25,000円、関東、甲信 35,000円、北陸、東海 45,000円、近畿 75,000円、中国 80,000円、四国 100,000円 九州 120,000円、沖縄 130,000円

【実績】

補助金交付実績一覧

申請種目	交付件数	交付人数	支給額
ソフトテニス	14	29	891,214
剣道	1	2	68,080
ボクシング	3	3	170,000
ソフトボール	3	40	1,200,000
空手	4	8	313,420
バレーボール	3	4	166,000
バドミントン	4	6	115,000
水泳	1	1	82,640
野球	4	27	413,560
新体操	1	1	15,000
計	34	121	3,434,914

【事業費】 事業費総額 3,435千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>令和4年度は本補助金を活用し、小・中学生選手（監督・コーチを含む）121名が東北大会・全国大会に出場しスポーツに対する意欲向上につながった。令和4年度は前年度よりも増加しコロナ前の状況に戻りつつある。</p> <p>今後は、広報紙や市ホームページ等のほか、学校へポスターを配布するなど、制度の周知を図り、多くの児童・生徒に補助金が交付されるよう努める。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 14

事務事業名	SOMPO ボールゲームフェスタ	担当課	スポーツ課
-------	-------------------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	3 夢に向かう競技スポーツの推進
事業年度	令和4年度	
事業の目的	日本トップリーグ連携機構に加盟するリーグに所属する、又は所属していたトップアスリートがボールを使う運動の楽しさや技術を幼児や小学生に指導し体験することで、子どもたちのスポーツライフを支援し競技の普及や底辺拡大、ならびに参加者の意識や競技力向上を図り、競技人口の拡大に繋げる。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】 ひらかドリームアリーナにおいて親子で参加するボールを使った体験教室と、4種類の球技の体験教室を実施した。</p> <p>①親子体験教室（あそびバ!）36組72名参加 ②体験教室（バスケ・バレーボール・ラグビー・ソフトボール）（キッズチャレンジ）97名参加</p> <p>【実績】 講師：SOMPOボールゲームフェスタアンバサダー 高木菜那氏（元スピードスケート日本代表） ラグビー 向井陽 山下祐史 バレーボール 吉田真未 榎谷佳奈 バasketボール 矢代直美 長部沙梨 ソフトボール 須藤志歩 渡辺翠（当日天候不良による交通麻痺のため不参加）</p> <p>【事業費】 事業費総額 255千円（うち国・県補助 0千円） ※SOMPOの採択事業のため、講師料等の支出はなし</p>
--

3. 評価

B	参加者は講師の指導のもと楽しく体を動かすこともでき、運動の楽しさや技術の向上にもつながりながら、トップアスリートとの交流が図られた。また、未経験者も対象としたことから、競技の普及や底辺拡大に繋がった。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 15

事務事業名	ひらかわドリームアリーナ駐車場整備工事	担当課	スポーツ課
-------	---------------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-1 健やかなひとづくり
	個別目標	3 生涯にわたるスポーツライフの推進
	主要施策	1 運動施設の環境整備と効率的な利活用
事業年度	令和4年度	
事業の目的	ひらかわドリームアリーナ北側に新たに駐車場を整備することで、平賀地域の運動施設全体としての利用者の利便性の向上につながる。また、併せて西側の道路も改修することで、利用者の安全・安心な運動施設利用にもつながり、スポーツ振興の発展に寄与することができる。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

平賀地域の運動施設（ひらかドーム・平賀屋内温水プール・平賀テニスコート・平川市陸上競技場・平賀多目的広場）において、同時期に大会が開催された場合に駐車場が不足するため、新たにひらかわドリームアリーナ北側に駐車場を整備した。併せて西側の市道（町居南田14号線）の改良工事を実施し、安全・安心に運動施設を利用できるよう工事を実施した。

【実績】

(1) 令和4年度 ひらかわドリームアリーナ駐車場整備工事

- 工事期間：令和4年7月15日～令和5年3月20日
- 請負業者：八木橋・弘南産業特定建設工事共同企業体
- 施行内容：土工・舗装工・排水構造物工・構造物撤去工・横断防止柵設置工
区画線工・照明灯設置工（6基）
- 請負金額：97,559千円
- 駐車台数：乗用車用210台・大型バス用10台・障害者用4台

(2) 令和4年度 町居南田14号線道路改良工事

- 工事期間：令和4年7月6日～令和5年3月20日
- 請負業者：株式会社弘南産業 代表取締役 相馬親志
- 施行内容：道路土工・法面工・排水構造物工・擁壁工・防護柵工・舗装工・区画線工
構造物撤去工・仮設工
- 請負金額：34,804千円
- 施行延長：85.00m

3. 評価

A	ひらかわドリームアリーナ北側駐車場並びに西側市道の道路改修工事を実施したことで、利用者の利便性が向上し、より安全・安心な運動施設の環境が整備された。今後もよりよいスポーツ環境を提供し、競技力向上や生涯スポーツ・健康づくり・レクリエーションの場としてさらなる利活用が図られるよう努める。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 16

事務事業名	男女共同参画事業 情報誌の発行・講演会の実施	担当課	生涯学習課
-------	---------------------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	2 互いに尊重し共生しあえる社会の形成
	主要施策	1 男女共同参画意識の醸成
事業年度	令和4年度	
事業の目的	第4次平川市男女共同参画推進プランによる、男女がお互いの人権を尊重し、性別にとらわれることなく自分らしさを十分に生かしながら、一人ひとりが生活面や、精神的、経済的において自立し、いきいきと輝くことができる社会をめざすことを目的に啓発事業を実施する。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】</p> <p>(1) 情報誌による広報 年2回、情報誌「きあらひらかわ」において、国の制度周知や県内市内の身近な情報を発信し、男女共同参画に関する広報活動を行う。</p> <p>(2) 講演会による啓発 年1回、市民向けの講演会を実施し、男女共同に関する知識の啓発をする。</p> <p>【実績】</p> <p>(1) 情報誌による広報 1回目は、「きあらひらかわ」を印刷し、毎戸配布した。 2回目は、「広報ひらかわ3月号」に「きあらひらかわ」のページを設け広報活動を行った。</p> <p>(2) 講演会による啓発 「#男女共同参画ってなんですか」をテーマに講演会を実施し、男女共同参画に関する知識を啓発した。参加者56名（会場34名、オンライン22名）</p> <p>【事業費】 事業費総額 95千円</p>

3. 評価

B	啓発事業として、これまで、国の制度や男女共同に関する身近な活動の情報発信を広報誌で2回発行し、男女共同の啓発のため外部講師による講演会を年1回実施してきた。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、講演会は現地とオンラインによる併用開催で、安全に参加できる環境を整え男女共同に関する知識普及の啓発に努めた。
----------	--

事務事業評価表

事業 No. 17

事務事業名	ひらかわの寺子屋	担当課	平賀公民館
-------	----------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5	知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1	年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和4年度		
事業の目的	生涯にわたって自らが輝き続けるために、講演や文化芸術活動への参加を通して現代社会に適応できる教養を身に付けるとともに、その知識等を積極的かつ自主的に地域活動に活かせるひとづくりを行うものである。		

2. 実施方法・実績

【実施方法】※令和元年度より「平成の寺子屋」から「ひらかわの寺子屋」へ名称変更。令和4年度より「碓ヶ関公民館講座」と事業統合。

20歳以上の市民を対象に、現代社会に適応する教養を身に付けるための講座や移動学習会等を開催する。講座終了後は、次回以降の参考とするためアンケートを実施している。

【実績】○開催回数：講演会7回、移動学習会1回、体験教室12回、計20回

○参加者数：延べ155人

アンケートの結果、参加者の感想はおおむね良好であり、内容については好評である。

ひらかわの寺子屋開催実績

開催日	内容	人数	開催日	内容	人数
5/28	今おいしい山菜料理！	9	10/5	ランチョンマットづくり③	3
6/10	おいしい燻製が食べたい！	12	10/15	歴史散歩～広船編～	8
6/11	おいしい燻製が食べたい！（碓）	6	10/19	ホールdeヨガ	9
9/6	スマホ教室 キャッシュレス決済	10	10/29	もっと！おいしい燻製が食べたい！	17
9/7	スマホ教室 LINEを使ってみよう	10	11/2	ランチョンマットづくり①（碓）	2
9/13	スマホ教室 キャッシュレス決済（碓）	3	11/9	ランチョンマットづくり②（碓）	2
9/14	スマホ教室 LINEを使ってみよう（碓）	8	11/16	ランチョンマットづくり③（碓）	2
9/17	ガーデニングを楽しもう！	10	11/19	音楽番長のミュージックトーク♪	12
9/21	ランチョンマットづくり①	3	2/4	あおり藍について	15
9/28	ランチョンマットづくり②	4	3/4	津軽塗について	10

【事業費】事業費総額 211千円（うち国・県補助 0千円）

3. 評価

B	<p>昨年度に引き続きコロナ禍の中での開催となったが、講座内容の変更や日程変更、また、定員を調整することで、20講座の学びの場を提供することができた。また、昨年度は実施できなかった移動学習会も実施し、コロナ禍以前に戻りつつある。</p> <p>今後はコロナ対策として整備したオンラインを活用した事業を計画するなど、さらなる工夫が必要である。</p>
----------	--

事務事業評価表

事業No. 18

事務事業名	定例おはなし会	担当課	平川市図書館
-------	---------	-----	--------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2 ころ豊かなひとづくり
	個別目標	5 知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	1 年代に応じた多様な学習機会の提供
事業年度	令和4年度	
事業の目的	<p>幼児から小学6年生の子どもたちを対象に読み聞かせを通して、読書に興味をもたせ、読書習慣を身に付けるようにするほか、これを機会に図書館の利用促進を図る。</p> <p>また、学区や学年が異なる子どもたちの相互交流の場にするほか、思い出づくりの一助となることを目的とする。</p>	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

おはなし会は、内容充実のために月例、時節、体験型の三通りの方法にて、平川市読書推進運動協議会（おはなしこっとな）と連携を図り、テーマや内容を決定し、それに則した本を選書し実施している。

周知方法としては、市広報や市ホームページ、ツイッターへの掲載の他、図書館内だけではなく、市内各小学校、こども園等へポスター掲示を依頼し、チラシの配布等を行っている。

【実績】

4ヶ月健診時のブックスタート読み聞かせ（体験型）を除き、コロナ感染防止対策を講じた上で、全て実施した。

・月例おはなし会

開催数/参加人数 平賀図書館：9回/33名 尾上図書館：10回/27名

・時節おはなし会

開催数/参加人数 平賀図書館：3回/91名 尾上図書館：2回/15名 礎ヶ関公民館：3回/49名

・体験型おはなし会

開催数/参加人数 尾上図書館：1回/10名

【事業費】 事業費総額 151千円（うち国・県補助 0千円）

講師等謝金	134,400円	消耗品費（おかし代含）	16,035円	支出計	150,435円
-------	----------	-------------	---------	-----	----------

3. 評価

B	<p>3年度に中止となったおはなし会が、4年度では一部を除き、コロナ感染防止対策を講じた上で、ほぼ計画どおりに開催し、参加者増となったことは成果であることからBと判定する。</p> <p>コロナ禍前の実施状況への回帰のみならず、更に参加者が増えるように周知方法を工夫し、事業を継続していきたい。</p>
---	---

事務事業評価表

事業 No. 19

事務事業名	図書館利用促進事業	担当課	平川市図書館
-------	-----------	-----	--------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	5	知識と経験があふれる生涯学習の推進
	主要施策	2	生涯学習環境の整備
事業年度	令和4年度		
事業の目的	図書館の目的は、図書、記録、その他必要な資料を収集・整理・保存し、利用者の教養・調査研究・レクリエーション等に資することである。 上記の目的のため、平賀図書館・尾上図書館・碓ヶ関公民館図書コーナーの適切な蔵書管理と利用拡大を図ることを目的とする。		

2. 実施方法・実績

【実施方法】

限られた予算の中で蔵書の充実を図るため、平賀・尾上両館間が近距離であることを生かし、重複購入をせず、幅広い内容での図書購入を実施している。また、借りた図書をどちらの館にも返却可能な相互返却サービスを行い、利便性を高めている。それに加え、両館にない図書の利用希望があった際は県内相互貸借システムにより、他館から取り寄せて貸出を行い、利用者の要望に応じている。

また、利用拡大に向け、テーマに応じた「展示」コーナーを設け、魅力ある図書の紹介を実施。

前年度はコロナ禍により事業中止を余儀なくされたが、今年度は計画どおりに事業の実施が出来た。

【実績】

各図書館・公民館図書購入・利用実績

各館	年度	購入冊数	寄贈冊数	その他冊数	貸出人数	貸出冊数
平賀図書館	3	1,622	669	2	7,570	37,078
	4	1,568	471	0	11,124	45,947
尾上図書館	3	787	130	1	2,649	10,418
	4	915	175	78	2,705	11,052
碓ヶ関公民館	3	0	0	0	100	211
	4	64	16	0	104	224

【事業費】 事業費総額 7,686千円

講師謝礼	20,000円	消耗品費	989,214円	通信運搬費	240,480円	備品購入費	3,973,370円
記念品	306,000円	修繕費	77,000円	使用料	2,045,466円	負担金	34,000円

3. 評価

B	3年度に中止となった事業が、4年度は実施出来たこと並びに各館共に貸出人数及び貸出冊数が増となったことは成果であることからBと判定する。 5年度も引き続き、利用者増となるように展示コーナーの充実や事業を実施したい。 また、尾上分庁舎改修に伴う、尾上図書館の蔵書移転業務に着手することから、こちらも遺漏なく対応したい。
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 20

事務事業名	公共ホール音楽活性化	担当課	文化ホール
-------	------------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1	魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2	こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6	感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	1	芸術文化活動の振興
事業年度	令和4年度		
事業の目的	一般財団法人地域創造の事業である「公共ホール音楽活性化事業」を活用し、現在活躍している音楽演奏家を招へいして学校でのアウトリーチ（ホール外での演奏）及びコンサートを行い、音楽を身近なものとするとともに、感受性や創造性を高めることを目的とする。		

2. 実施方法・実績

【実施方法】

一般財団法人地域創造による助成事業を活用。出演者は、登録アーティストの中から選定。
 (H29：ピアノ、H30：金管五重奏、R1：ブラスバンド、R2：ピアノとマリンバ、R3：ヴァイオリン)
 R4の選定にあたっては、R1に実績があり、学校アウトリーチでの児童・生徒・先生の反応や感想、コンサートでの観客の反応が大変良く、コンサートのチケット販売枚数は過去最多であったブラスバンド（Black Bottom Brass Band）とした。前年度と同様にアウトリーチを6回とし、市内学校に案内したところ、応募が多数であった。より多くの生徒・児童に体験してもらいたいため、過去のアウトリーチの実施状況を踏まえ選考した。

学校を訪問するアウトリーチでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から密集を回避するため、実施場所を昨年に引続き体育館とした。

【実績】

出演アーティスト：Black Bottom Brass Band（ブラスバンド）

アウトリーチ先：9月28日 猿賀小学校3・4年生 48名 猿賀小学校5・6年生 47名

9月29日 金田小学校6年生 41名 竹館小学校2～4年生 44名

9月30日 平賀東小学校5年生 28名 小和森小学校6年生 55名

(H30=222名 R1=221名 R2=154名 R3=163名 R4=263名)

コンサート：10月1日 文化センターにて 163人

(入場者数 H30=287人 R1=433人 R2=138人 R3=163人)

【事業費】 事業費総額 1,969千円

(うち国・県補助 0千円 その他：地域創造助成金500千円 入場料155千円)

3. 評価

B	<p>アウトリーチについては、これまでの音楽室での実施と比較すると、体育館での実施は、空間が広すぎるため、『身近さ』や『一体感』が薄れるかと思われたが、子どもたちは演奏に聴き入っており、感動を与えることができた。</p> <p>コロナ禍にあり、事業本来の目的である「音楽を身近なものとする」という部分が薄れてしまうことはやむを得ない部分もあるが、より効果的な実施方法について情報収集し、工夫していく必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 21

事務事業名	文化財保護	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和4年度	
事業の目的	文化財保護法、平川市文化財保護条例に基づき、各種指定文化財を保護・保存するため、必要な事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

<p>【実施方法】</p> <p>(1) 所有者が実施する指定文化財の保存整備事業等に対し、補助支援を行う。</p> <p>(2) 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）での開発調整を行い、保護に努める。</p> <p>(3) 文化財パトロールや火災防ぎょ訓練等を行い、文化財保護の意識向上を図る。</p> <p>(4) 無形民俗文化財保存団体に対する補助支援や各種催事への出演斡旋に努める。</p> <p>(5) 文化財標柱・説明板を更新し周知に努める。</p> <p>【実績】</p> <p>無形文化財保存団体（市補助）に支援したほか、文化財標柱の更新、文化財パトロール、埋蔵文化財開発調整（発掘調査・試掘調査）等を行った。</p> <p>【事業費】 事業費総額 18,840千円 ※文化財保護費決算19,154千円のうち （うちその他特定財源17,205千円、大光寺新城跡発掘調査事業）</p>
--

3. 評価

B	<p>無形民俗文化財保存団体に対して補助支援したほか、ひらかわ郷土芸能発表会を開催しコロナ禍のなか減少していた活動周知の場の提供を図った。</p> <p>今後も市内に残る貴重な文化財の保護・保存や世代交代による円滑な継承を支援に努める必要がある。</p>
----------	---

事務事業評価表

事業 No. 22

事務事業名	郷土資料館	担当課	郷土資料館
-------	-------	-----	-------

1. 概要

平川市 長期総合プランの体系	基本目標	1 魅力あるひとづくり
	基本政策	1-2 こころ豊かなひとづくり
	個別目標	6 感性をはぐくむ芸術文化の振興
	主要施策	2 文化財の保存と継承
事業年度	令和4年度	
事業の目的	平川市郷土資料館条例に基づき、郷土の歴史、民俗、芸術、産業及び自然に関する調査、教育、研究、資料の収集、保管及び展示に関する事業を行うものである。	

2. 実施方法・実績

【実施方法】

- (1) 資料の適切な保管と展示を行う。
- (2) 展示会などの普及啓発事業を行い、郷土に関する学習の機会を提供する。
- (3) 収蔵資料の貸出や講師派遣による学校教育の支援を図る。

【実績】

普及啓発活動事業一覧

種別	事業名	開催場所	観覧・参加人数
展示会	美術作品展 今井俣版画作品展	文化センター	324名参加
	齋藤浩レコード展	文化センター	371名参加
見学会	史跡文化財巡り	八戸是川縄文館	38名参加
	ひらかわ歴史散歩～広船編～	広船	8名参加
講座	ひらかわ文化財講座「平泉の世界遺産」	文化センター	18名参加
	伝統文化鑑賞会「あおもり藍」	文化センター	15名参加
	伝統文化鑑賞会「津軽塗」	文化センター	10名参加
体験学習	考古学者体験!	文化センター	6名参加
	土偶クッキーづくり	文化センター	11名参加

その他、学習機会の支援として、平賀東小学校の文化センター資料展示コーナー見学に際し、展示解説を行った。

【事業費】事業費総額 ※315千円（うち国・県補助 0千円）※文化財保護費決算19,154千円のうち

3. 評価

B	中止となった事業はなく、歴史や文化財などについて見識を深める機会を提供できた。また、ひらかわ文化財講座は文化センターでの講座のほかオンラインも併用して開催し、当市の魅力発信につなげることができた。
----------	--

